

国語－５（第１学年） 課題に沿って本を読んで紹介する事例
 （読むこと、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）

【学習活動の概要】

1 単元名	昔話のルーツを紹介しよう～古典の様々な作品について知る～																
2 単元の目標	現在も読まれている昔話と古典とを読み比べ、その内容や面白さについて紹介することができる。																
3 評価規準	<p>【国語への関心・意欲・態度】 古典の文章に関心をもち、進んで古典に触れようとしている。</p> <p>【読む能力】 現在も読まれている昔話と古典を読み、他人に紹介するという目的に応じて必要な情報を読み取っている。</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】 古典には様々な種類の作品があることを理解している。</p>																
4 教材	<ul style="list-style-type: none"> ・①「わらしべ長者」、②「一寸法師」、③「かぐや姫」、④「イソップ物語」、⑤「シンデレラ*」の絵本等 ・①「今昔物語集」、②「御伽草子」、③「竹取物語」、④「伊曾保物語」、⑤「落窪物語*」の現代語訳や関連する本 																
5 主な学習活動	(1)単元の展開（全４時間）																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="255 1086 359 1153"></th> <th data-bbox="359 1086 949 1153">学習活動</th> <th data-bbox="949 1086 1428 1153">言語活動に関する指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="255 1153 359 1265">第１時</td> <td data-bbox="359 1153 949 1265">学習の流れを理解し、見通しをもつ。 5つの昔話の大まかな内容を理解し、取り組んでみたい作品を決める。</td> <td data-bbox="949 1153 1428 1265">○昔話と比べることを通して、古典について自分なりの考えをもてるようにする。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1265 359 1355">第２時</td> <td data-bbox="359 1265 949 1355">昔話の絵本と、元となった古典の現代語訳、関連する本等を読み、紹介したい内容についてまとめる。</td> <td data-bbox="949 1265 1428 1355">○小学校での古典の学習を振り返らせる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1355 359 1433">第３時</td> <td data-bbox="359 1355 949 1433">グループで、紹介したい内容を決める。 口頭で紹介するための練習をする。</td> <td data-bbox="949 1355 1428 1433">○学校図書館を活用し、複数の本や資料から情報を得させるようにする。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1433 359 1568">第４時 (本時)</td> <td data-bbox="359 1433 949 1568">グループの紹介を聞き合い、感想を交流する。 学習を振り返り、古典について分かったこと、関心をもったことを文章に書く。</td> <td data-bbox="949 1433 1428 1568">○同じ作品を選んだ人でグループを作る。 ○これからの古典の学習への期待も書かせるようにする。</td> </tr> </tbody> </table>		学習活動	言語活動に関する指導上の留意点	第１時	学習の流れを理解し、見通しをもつ。 5つの昔話の大まかな内容を理解し、取り組んでみたい作品を決める。	○昔話と比べることを通して、古典について自分なりの考えをもてるようにする。	第２時	昔話の絵本と、元となった古典の現代語訳、関連する本等を読み、紹介したい内容についてまとめる。	○小学校での古典の学習を振り返らせる。	第３時	グループで、紹介したい内容を決める。 口頭で紹介するための練習をする。	○学校図書館を活用し、複数の本や資料から情報を得させるようにする。	第４時 (本時)	グループの紹介を聞き合い、感想を交流する。 学習を振り返り、古典について分かったこと、関心をもったことを文章に書く。	○同じ作品を選んだ人でグループを作る。 ○これからの古典の学習への期待も書かせるようにする。	
	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点															
第１時	学習の流れを理解し、見通しをもつ。 5つの昔話の大まかな内容を理解し、取り組んでみたい作品を決める。	○昔話と比べることを通して、古典について自分なりの考えをもてるようにする。															
第２時	昔話の絵本と、元となった古典の現代語訳、関連する本等を読み、紹介したい内容についてまとめる。	○小学校での古典の学習を振り返らせる。															
第３時	グループで、紹介したい内容を決める。 口頭で紹介するための練習をする。	○学校図書館を活用し、複数の本や資料から情報を得させるようにする。															
第４時 (本時)	グループの紹介を聞き合い、感想を交流する。 学習を振り返り、古典について分かったこと、関心をもったことを文章に書く。	○同じ作品を選んだ人でグループを作る。 ○これからの古典の学習への期待も書かせるようにする。															
	(2)本時の学習（４／４時間）																
	<p>① グループごとに、調べて考えた内容について口頭で紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔話のルーツになった古典について、その内容と面白さを紹介する。 （複数の本や資料から引用するようにする。グループの全員が、紹介を分担するようになる。） ② 他のグループの紹介を聞いて、考えをまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・次のことをワークシートに書く。 (ア)自分が取り上げた古典との比較。(イ)紹介を聞いて分かった面白さ。 ③ 自分の考えをまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を振り返る。 ・今回の学習で、古典について分かったこと、関心をもったことを文章に表す。 																

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

本事例では、中学校学習指導要領・国語の第1学年「読むこと」の指導事項「本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。」及び「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」(1)ア(イ) 古典には様々な種類の作品があることを知ること。」を指導する。

情報を効果的に読み取るために、必要な部分に印を付したり、必要な部分を抜き出したりする方法を指導する。また、一冊の本を最後まで読む、大事な箇所を読む、多くの本に目を通すなど、多様な読み方があることも確認する。

「伝統的な言語文化に関する事項」の指導においては、小学校で古典に触れてきた経験を想起させ、古典には様々な作品があることについて具体的に理解できるよう指導する。

【言語活動の充実の工夫】

上述の内容を効果的に指導するために、言語活動を設定する。ここでは、現在も読まれている昔話とその元になった古典を読み、内容や面白さなどを紹介することにした。

中学校における古典の学習は、古典についての興味・関心を一層高めることが目的である。そのためには、古典についての知識を、具体的な作品等から切り離して指導するのではなく、実際に古典に触れながら学習させることが必要である。



今回の学習は、身近なところにある昔話の絵本を読むことをきっかけにして、それぞれの元となった古典の作品について興味をもって調べる。その際、作品の内容や面白さを紹介するという目的をもたせることで、目的に応じて必要な情報を読み取るという「読むこと」の指導事項も位置付ける。この段階の学習では、古典の原文は意図的に扱わないようにし、現代語訳や、作品について解説した本、作品に関連する資料などを準備するようにした。生徒が古典を読むことについての抵抗感を減らすとともに、できるだけ多くの文章や資料に基づいて考えを深めさせたいからである。ただし、調べたことを紹介する際には、作品の原文の一部を表示したり、音読したりすることもできることを助言している。

指導に当たっては、古典についての学習経験を想起させて活動の動機付けとすることはもちろん、小学校第5学年及び第6学年において、本や文章を効果的に読むことについて学習していることにも留意する必要がある。

* 「落窪物語」は「シンデレラ」の元になった話ではないが、地域を越えて似た話があることに興味をもたせたいと考え、関連する「古典」として示した。

ワークシートの記入例

第一学年 国語 『古典散歩』

昔話のルーツを「古典」から探る
手にとって読みたくなる古典紹介

5	4	3	2	1	作品名	担当
御伽草子	今昔物語	伊曾保物語	落窪物語	竹取物語	竹取物語	班 1

各グループの古典紹介の予告を聞いて、発表の時間を申し出て読みましたね。発表を聞いて、自分たちが取り上げた古典作品と比較して、気づいたことを書きましょう。

気づいたこと

1 童話でよく分かってはいたけれど、今改めて読んでみると、昔話のルーツがこんなに面白かった。昔話のルーツがこんなに面白かった。昔話のルーツがこんなに面白かった。

2 昔話のルーツがこんなに面白かった。昔話のルーツがこんなに面白かった。昔話のルーツがこんなに面白かった。

3 昔話のルーツがこんなに面白かった。昔話のルーツがこんなに面白かった。昔話のルーツがこんなに面白かった。

4 昔話のルーツがこんなに面白かった。昔話のルーツがこんなに面白かった。昔話のルーツがこんなに面白かった。

5 昔話のルーツがこんなに面白かった。昔話のルーツがこんなに面白かった。昔話のルーツがこんなに面白かった。

理由

「これら古典の中で、これからは興味を持って読んでみたい作品を理由に……」

「古典散歩」として、一学期は「おくのほそ道」の音読を楽しみました。二学期は、昔話に関連する、さまざまな古典作品を紹介し合いました。三学期の「古典散歩」では、どんな古典の学習をしていきたいですか。

三学期は、おくの中の詩や、阿王伝や、暗黒してみたいので、そして、古典風な自分で詩を作りたいです。